

# 士幌、帯農の計3団体優秀賞

## 農業クラブ20校214人が研究披露

【富田】日本学校農業クラブ北海道連盟主催の「第50回全道実績発表大会」が1月31日と2月1日、音更町の十勝川温泉



第一ホテルで開かれ、農業高校生が研究成果を披露した。十勝管内からは、十勝高(2団体)と帯広農業高の3校が団体が優秀賞に輝いた。予選を通過した10校から214人が参加。(食)

「高校生チーム」は、食料部で優秀賞に輝き、食料部で優秀賞に輝いた。予選を通過した10校から214人が参加。(食)

優秀賞に輝き、賞状を受け取る十勝高の生徒。発表内容は「環境」「文化」「生活」「クラブ活動発表」の4部門で、農業での地熱利用や食育などについて発表した。十勝高は、「高校生チーム」職人達の挑戦 新開発

次ぐ優秀賞を受賞。帯広田一宏道教養指導主事は農業高の「風倒木の有効利用 雪冷熱を利用したエリンギ栽培に挑戦」(同・志谷幹雄さん、岡本みずきさん)は濃尾部門で優秀賞に入った。閉会式で総審査長の鎌田(地谷哲)は「地域と連携し、深い内容のものが多かった」と講評。帯広市の更別農業高の武内創さんは、農業高校が地域に活力を与える存在でありたいと語った。